

# 大学教務実践研究会 教務課題検討フォーラム

主催：大学教務実践研究会、東海国立大学機構名古屋大学高等教育研究センター[質保証を担う中核教職員能力開発拠点]

## 2023年12月16日（土）10:00–15:30

現地参加／オンライン参加／アーカイブ視聴



大学教務実践研究会と名古屋大学高等教育研究センターとは、教務の現場における事例を持ち寄り、それを整理した上で実践的な知識まで高めることを目的に、協働して活動しています。この教務課題検討フォーラムは、2022年までの大会から名称を変更し、より今日的な課題をとりあげ、ともに議論を深めていく場として設定しました。今年のフォーラムでは、昨年改正された大学設置基準や今年改正された教職課程認定基準をテーマに、制度の理解、実際の運用場面での対応、文部科学省への手続き等、4つの分科会を設定し、実践的な知識を共有します。

※本フォーラムには、以下の参加形態があります。お申込の際にお選びください。

現地参加（名古屋大学東山キャンパス全学教育棟A館）／リアルタイムオンライン参加／アーカイブ視聴

※本フォーラムの一部は、現地参加の方のみ対象の交流プログラムとなります。詳細は次頁をご覧ください。

**分科会1** 10:00～ 講義・演習など 11:30～ 意見交換など（12:00 終了）

（9:40 接続開始）

オンライン

（9:30 受付開始）

現地参加

- 1a) カリキュラムを取り巻く法令・制度の理解を深める
- 1b) どうする？履歴書・教育研究業績書の執筆依頼！

**分科会2** 13:30～ 講義・演習など 15:00～ 意見交換など（15:30 終了）

（13:10 接続開始）

オンライン

（13:00 受付開始）

現地参加

- 2a) カリキュラムを通じた学習成果の評価を考える
- 2b) 事例で学ぶ教員免許事務（教育課程の変更届）

お申込み：<https://kyoumujissen1216.peatix.com> からお申込み下さい。

※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

※お一人ずつの参加申し込みをお願いいたします（複数購入はできません）。

申込期限：12月9日（土）

参加費：1名につき2,000円（名古屋大学・岐阜大学所属の方は無料）

※支払い方法等詳細は次頁に記載しています。

お問合せ：[nagoya@kyoumujissenn.com](mailto:nagoya@kyoumujissenn.com)（大学教務実践研究会）

**分科会 1** ※現地参加／リアルタイム参加の場合、いずれか1つを選択していただきます。

### 1a) カリキュラムを取り巻く法令・制度の理解を深める

担当：宮林 常崇（東京都立大学）、大津 正知（茨城大学）

カリキュラムの見直しや授業科目を新たに開講する時に確認すべき法令や制度はどのようなものがあるでしょうか。オンラインの活用やPBLをはじめとした教育方法の多様化や大学教育の質保証といった大学を取り巻く政策の変化に対応するためには、現行の法令・制度や政策動向をより確かに理解しておくことが不可欠です。

本分科会では、法令・制度・政策動向を表面的に理解するのではなく、大学の裁量、歴史的経緯、組織文化といった多様な切り口でこのテーマ捉えなおすことで、参加者がそれぞれの現場で教育改善に貢献するために有用な知識・理解を身につけるきっかけとします。具体的には、前半90分間は講義・演習形式で論点整理を行い、後半30分は、対面会場参加者間での意見交換、全体での共有と、担当者間の交流を含めた時間とします。

### 1b) どうする？履歴書・教育研究業績書の執筆依頼！—課程認定申請・変更届提出を控えて—

担当：有馬美耶子（白百合女子大学）

話題提供：多畑 寿城（神戸女子大学）、小野 勝士（龍谷大学）、石樽 三鈴（中部大学）

9月に改正された教職課程認定基準に基づき、小学校課程をはじめとする申請を年度末に控えている大学が多くあると思います。また、変更届においても必要とされる本テーマで扱う書類は、学科等の設置認可申請の書類とはまた異なる記載ルールがあります。これらルールにのっとった上で、教員に作成を依頼するにあたり、事務職員が工夫していること、書類完成にいたるまでの過程での課題等について、共有します。後半30分は、対面会場参加者間での工夫等についての意見交換、全体での共有と、担当者間の交流を含めた時間とします。

**分科会 2** ※現地参加／リアルタイム参加の場合、いずれか1つを選択していただきます。

### 2a) カリキュラムを通した学習成果の評価を考える

担当：竹中 喜一（近畿大学）

学習成果の評価を大学教育の質保証につなげるためには、カリキュラムを通した学習成果を評価し、適切な形で公表して、教育や学習を改善できなければなりません。本テーマでは、学習成果の評価の目的や意義といった背景から、カリキュラムを通した学習成果の評価方法の具体例、評価結果の活用方法について基礎的な解説を行います。後半30分では、対面会場参加者間あるいは参加者と講師の間で、カリキュラムを通した学習成果の評価方法や課題、課題解決の方向性などについて意見交換を行います。なお、本テーマの内容は、竹中喜一編(2023)『シリーズ大学教育の質保証2 学習成果の評価』に準拠するものです。

### 2b) 事例で学ぶ教員免許事務（教育課程の変更届）

担当：小野 勝士（龍谷大学）

これから年度末にかけて多くの大学で作成する「教育課程の変更届」について、このような変更が生じる場合、届出が必要かどうか、また届出書類にどう記載するのか迷うことがあります。想定される具体的な変更事例を複数提示し、参加者の皆さんにどのように届出様式に落とし込むかを考えていただきます。そして、私に変更届を作成する様子を画面にて共有し、変更届が完成するまでの過程をご覧いただきます。後半30分は、対面会場参加者間で疑問となっている内容についての意見交換、全体での共有と、担当者間の交流を含めた時間とします。

#### ■参加費の支払い方法・キャンセルについて

※申し込みサイトにてクレジットカード、コンビニ、ATM払いが可能です

クレジットカード：VISA、MasterCard、JCB、AMEX、PayPal

コンビニ：LAWSON、FamilyMart、Mini Stop、Daily Yamazaki、Seicomart

ATM：Pay-easy、ゆうちょ銀行、ジャパンネット銀行、楽天銀行、自分銀行

※コンビニ/ATM払いの場合は、1件につき220円の手数料が発生します。

※キャンセルの方法については peatix の参加者 help サイトを参照の上お手続きください。

コンビニ・ATM払いの場合、返金手数料としてキャンセル1件につき340円の手数料が発生します。

※領収書は peatix のサイトから出力できます（詳細は peatix の参加者ヘルプサイトにてご確認ください）。